

令和6年度 能代市教育連携報告

1 能代市から豊島区への視察受け入れについて

(1) 日時

令和6年10月3日(木)～令和6年10月4日(金)

(2) 目的

豊島区と能代市が児童・生徒の学力向上へ向けた取組でお互いのよさを共有し、確かな学力の更なる向上を目指す。

(3) 能代市から豊島区への視察受け入れについて

訪問校及び視察内容

学校名	○視察内容 ・能代市教員の感想	
池袋小学校		○外国籍児童への指導や文化理解教育について ○通常級における外国籍児童への学習支援や指導の工夫について ・日本語が満足に話せない児童も生き生きと活動しており、支援や環境整備が充実していると感じた。
		○池袋小学校の研究や、新人育成方針等について ○Friendschool 校同士の連携について ・普段オンラインで話していたが、実際に会えたことが嬉しかった。今後も連携を深めていきたい。
南池袋小学校		○けやき学級の指導の仕方や、集中できる教室環境の工夫について ・「できたー!」とうれしそうに声を上げる姿を見て、個に応じた支援の重要性を改めて感じる事ができた。
西池袋中学校		○不登校支援教室「道の駅」の取り組みについて ・登校しやすい雰囲気を作るために、安心できる居場所の確保や手だて等がたくさんあり、参考になった。

2 豊島区から能代市への教員派遣について

(1) 日時

令和6年10月29日(火)～令和6年10月30日(水)

(2) 目的

能代市立小・中学校における授業参観や協議会等を通して、能代市の教育について学び、豊島区の教員の授業力向上を図る。

(3) 研修内容

時期	内容
事前	①授業における自校の課題を明らかにする。 ②①の課題を改善するために、能代で学びたいことを明らかにする。
当日	①2つの視点で授業を参観する。 ②自校の課題を改善するための方策を見いだすため、協議会を行い、能代市の取組について理解を深める。
事後	①各校において学んだことをもとに授業改善・授業公開を行う。 ②学んだことをもとに、報告書を作成する。 ③授業改善による児童生徒の変容を見取る。

(4) 授業参観について

	・自校の課題	○学んだこと
めあてとまとめ・振り返り	・子どもに、「自分ごと」としてめあてや課題を捉えさせられていない。 ・若手の教員も多く、子どもたちからめあてを引き出せなかったり、振り返りをもとにめあてを立てられなかったりしている。 ・めあてとまとめが繋がっていない。	○子どもの生活に身近なことを導入にすることで、「自分ごと」として捉えさせ、めあてを設定すること。 ○「振り返りカード」や「自己評価カード」を基に、その授業で何を身に付けられたか確認させ、次の授業や実生活につなげること。 ○めあてとまとめを横並びで板書することで、毎時間めあてに対してまとめること。
教師のファシリテート	・教師が話しすぎてしまい、子どもの思考の時間を確保できていない。 ・発問を精選できていない。 ・タブレット端末を活用した、協働的な学びの手だてが不十分である。 ・子ども同士で伝え合いや、学び合いをしているが、思考を深める指導まで至っていない。	○「聴く 待つ 考えさせる」ことを大切に指導することで、子ども主体の授業づくりを行うこと。 ○1単位時間で身に付けさせたいことを明確にし、逆算して発問を精選すること。 ○検索ツールとしてではなく、考えを共有したり、動画で振り返ったりする思考・表現ツールとしてICT機器を活用すること。 ○学び合いの際には教師が「聴いて 考えて 繋げる」ことを意識して指導すること。

(5) 派遣後の取組について

①研修参加者から校内への還元

研修に参加した教員が能代市での学びを生かした授業を公開し、校内への還元を図る。

巣鴨北中学校	11月 1日(金)	西池袋中学校	1月15日(水)
朋有小学校	11月28日(木)	池袋中学校	1月16日(木)
駒込小学校	12月 4日(水)	清和小学校	1月22日(水)
豊成小学校	12月 6日(金)	池袋第一小学校	
要小学校	12月 9日(月)	西池袋中学校	
南池袋小学校	12月20日(金)	巣鴨小学校	1月28日(火)
		高南小学校	1月29日(水)

②指導課から区立学校への還元

- ・研修に参加した教員の報告書をもとに、授業改善のポイント(めあてとまとめの一体化・振り返り、教師のファシリテート)として活用できる資料「としまっ子の学び Vol.2」を作成する。
- ・作成した資料を令和7年度の年次研修等で活用し、授業改善を推進する。